

平成 29 年度
小牧市社会福祉協議会
ボランティアセンター 事業報告書

社会福祉法人小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターの設置及び運営に関する規則
第1条 地域住民のボランティアに関する理解と関心を深めるとともに、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を行い、もって、社会福祉の推進を図るため本会にセンターを置く。

1. 地域のボランティア力の強化・育成・ネットワーク拡充

16 事業

- (1) ボランティアセンター運営委員会
- (2) ボランティア連絡会
- (3) ボランティアリーダースクール
- (4) ボランティア勉強会
- (5) 地区ボランティア連絡会
- (6) ボランティア活動保険の加入促進
- (7) ボランティア活動助成金の交付
- (8) ボランティアルームの常時開設
- (9) 婦人・ジュニア・シルバー奉仕団の活動推進
- (10) ジュニア奉仕団卒団生の活動
- (11) 災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練
- (12) 市総合防災訓練参加
- (13) 東日本大震災県外避難者支援
- (14) 東尾張ブロック社会福祉協議会災害救援連絡会議
- (15) 東尾張ブロックボランティア集会
- (16) 他市町村ボランティア連絡協議会との交流会

2. ボランティアの心を育て実践を促す活動

5 事業

- (1) ボランティア養成講座の開催
- (2) 養成講座の開講支援
- (3) ボランティア相談、情報提供、各種機材の貸し出し等
- (4) ボランティア情報コーナー設置
- (5) ボランティア登録

3. 福祉教育活動の推進

4 事業

- (1) 福祉実践教室の開催
- (2) 「総合的な学習の時間」への協力
- (3) 中学生及び高校生福祉体験学習事業
- (4) 市役所新任職員研修協力

4. 「福祉の心」「ボランティアの心」の普及・啓発活動

5 事業

- (1) 福祉展の開催
- (2) ボランティア活動啓発用パネルを常時展示・貸出
- (3) ボランティアグループ一覧表の作成配布
- (4) インターネットでのボランティア情報の提供
- (5) 啓発活動支援

5. 人にやさしいまちづくりの実現

1 事業

- (1) 障がい者（児）スポーツレクリエーションのつどい

6. その他登録ボランティアに関係する事業

計 31 事業

1. 地域のボランティア力の強化・育成・ネットワーク拡充

(1) ボランティアセンター運営委員会(年4回)

【目 的】 ボランティアセンターのセンターの事業推進、機能充実、体制整備、ボランティア活動の円滑化を図るための業務についての協議を行う。

①第1回ボランティアセンター運営委員会

【日 時】 4月12日(水) 13時30分～

【場 所】 ふれあいセンター 会議室3

【出席数】 12名

【内 容】 自己紹介、副委員長あいさつ、平成29年度社会福祉協議会事業計画について、ボランティア事業について、会参加の感想

②第2回ボランティアセンター運営委員会

【日 時】 9月6日(水) 13時30分～

【場 所】 ふれあいセンター 会議室3

【出席数】 13名

【内 容】 小牧市社会福祉大会顕彰候補者の推薦について、中高生福祉体験学習文集編成について、事業報告(①ボランティア養成講座と勉強会②福祉展進捗状況③新規登録グループ紹介④東尾張ブロックボランティア集会について⑤災害時におけるボランティア対応について⑥その他)

③第3回ボランティアセンター運営委員会

【日 時】 10月4日(水) 13時30分～

【場 所】 ふれあいセンター 会議室3

【出席数】 8名

【内 容】 中高生福祉体験学習感想文発表者について(応時中:余語麗美、小牧南高校:鈴木愛未、篠岡中:青鹿由依)、事業報告(①福祉実践教室の実施状況②スポレク進捗状況③市総合防災訓練、県外避難者交流会について④ココボラの活動状況)

④第4回ボランティアセンター運営委員会

【日 時】 平成30年3月7日(水) 13時30分～

【場 所】 ふれあいセンター 会議室3

【出席数】 10名

【内 容】 平成29年度事業実施状況、平成30年度主な取り組みについて、今後のボランティアセンター事業について(意見交換)

(2) ボランティア連絡会(グループ代表者会) (年2回)

【目的】 ボランティア精神に基づいて、心豊かな住みよい地域社会の創造と会員相互の連絡と交流を図ることを目的とする。

① 第1回ボランティア連絡会

【日時】 4月19日(水) 13時30分～

【場所】 ふれあいセンター 大会議室

【出席数】 51名

【内容】 ボランティア連絡会正副会長選出・承認、社会福祉協議会事業及び協力会費のお願い、ボランティアセンターの取り組みについて、グループ交流「自分のボランティア活動の自慢」

② 第2回ボランティア連絡会

【日時】 平成30年2月21日(水) 13時30分～

【場所】 ふれあいセンター 大会議室

【出席数】 65名

【内容】 会長あいさつ、平成29年度事業実施状況について、平成30年度主な行事予定について、平成30年度ボランティア登録、平成29年度の手続きについて、ホップステップ小牧の説明、副会長あいさつ、ボランティア活動助成事業について



(3) ボランティアリーダースクール

- 【目 的】 市内のボランティア活動の活性化を図るため、指導力のあるリーダーの育成・養成をめざす。
- 【開催日時】 6月8日（木）13時30分～
- 【場 所】 ふれあいセンター 大会議室
- 【参加対象】 登録ボランティア会員 代表、役員など
- 【参加者数】 93人
- 【内 容】 社会福祉法人 中部善意銀行理事長 岡田 邦彦氏
「社会を変えるボランティアの力」



(4) ボランティア勉強会

- 【目 的】 より多くのボランティアに「ボランティア活動の意義や必要性」についての理解を深めていただくとともに、活動を続けることのモチベーションを高め、「ボランティア活動の活性化」を目的として開催する。
- 【参加対象】 登録ボランティア 全員

第14弾【障がい】「障がい者の就労を取り巻く現状」（バスツアー）

- 【開催日時】 8月23日（水）10時～12時30分頃
- 【参加者数】 45名
- 【内 容】 社会福祉法人AJU 自立の家小牧ワイナリーを訪れ、障がい者の就労を取り巻く現状について学びます。



第15弾【障がい】「障がい者を支える地域の工場を見学」(バスツアー)

【開催日時】9月22日(金)13時30分～15時30分頃

【参加者数】54名

【内 容】(株)松本義肢製作所を訪れ、地域で自立を目指す障がい者について学びます。



第16弾【障がい】「見た目ではわからない！？～発達障がいを体感～」

【開催日時】12月14日(木)13時30分～15時15分頃

【参加者数】40名

【内 容】①「発達障がい児(者)の課題・親の思い」
パパママサポートあおぞら 代表 丹羽 千里 氏
②「キャラバン隊公演」
疑似体験を通して、発達障がいを理解します。
③振り返り



(5)地区ボランティア連絡会

【目的】本会は、ボランティア精神に基づいて、地区に在住する会員相互の交流と、地区の福祉の増進及び啓発をはかることを目的とします。

【人数】地区ボランティア連絡員 289 名

地区	南部	中部	西部	味岡	篠岡	北里	市外
所属人数	586	245	317	650	696	278	263
G 数	48	39	44	67	53	38	

①第 1 回地区ボランティア連絡会 6 地区合同役員会

【日時】5 月 24 日(水)13 時 30 分～

【場所】ふれあいセンター 視聴覚室

【出席数】18 名

【内容】平成 29 年度活動計画について（地区ごと）、助成金申請書・計画書提出について、意見交流

②第 2 回地区ボランティア連絡会 6 地区合同役員会

【日時】平成 30 年 3 月 6 日(火)13 時 30 分～

【場所】ふれあいセンター 視聴覚室

【出席数】21 名

【内容】平成 29 年度活動状況の報告、平成 30 年度活動計画について（地区ごと）、助成金実績報告の提出について、意見交流

③活動助成金の交付

【金額】6 地区 合計 555,800 円

④ふれあい会食会 ※2 地区（小牧中部・味岡）実施

【目的】地域の高齢者を対象として、アトラクション・食事などを楽しみながら参加者同士やボランティアとの交流を深める。

【助成金】191,000 円（2 地区合計）

【対象者数】191 名（2 地区合計）

(6)ボランティア活動保険の加入促進

【内容】加入事務手続き・保険請求手続き、加入料補助、天災プラン(災害)加入手続き

【件数】加入人数 3,447 名（うち天災プラン 30 名）、行事保険加入件数 15 件

【金額】加入補助額 453,300 円

【備考】活動保険請求手続き件数 8 件(うち 2 件は次年度も手続き継続)

(7)ボランティア活動助成金の交付

【目的】ボランティア活動の振興を図るために、自主的かつ継続的に行うボランティア活動をより促進し、活発化させ、活動の幅を広げることを目的としています。

【件数】67 グループ

【金額】1,150,214 円（合計）

【内容】申請案内等事務手続き・決定通知・請求処理・入金処理

【助成団体】

A	A1 あい心の窓、A2 カトレヤグループ、A3 傾聴ボランティア「こまき」、A5 根っ子の会、A6 野口さわやか会、A9 ボランティア「まどか」、A10 ボランティアあかり
B	B1 運転ボランティア、B2 ガイドヘルプ友の会、B3 声のボランティア「かつこう」、B4 ここばりこまき、B5 小牧市おもちゃ図書館きらら、B6 サンデーボランティア、B7 手話サークル「おてだま」、B8 手話サークル「ふたば」、B9 精神保健福祉ボランティアエーデルワイス、B10 点訳グループ「たんぼぼ」、B11 パパママサポートあおぞら、B12 バリアフリー和太鼓サークル鼓っこ、B15 要約筆記O. H. P小牧
C	C1 味噌地域リハビリたんぼぼの会、C2 おじゃめの会こまき、C3 オリーブ、C4 小牧市食生活改善協議会、C5 小牧市女性の会野ぎくの会、C6 こまき歯っ磨るテイスターズ、C7 篠岡リハビリ教室「ももの会」、C8 西コミふれあいの会
D	D1 アラック（アマチュア無線災害ボランティア小牧）、D2 小牧災害ボランティアネットの会、D3 小牧防災リーダー会、D4 多気交友会、DS1 米野地区防犯パトロール
E	E2 岩崎わかばコーラス、E5 芸能友輪会、E6 芸能シアターつげの会、E7 コーロ・マンマ、E9 小牧愛唱会、E10 小牧歌笑会、E11 小牧ギター合奏団、E12 小牧マジッククラブ、E14 しあわせの会、E15 東雲吟詠会、E17 中部音友会、E18 藤唱会、E20 ボランティア一輪八重の会、E24 和祝太鼓、E25 和太鼓鼓珀、E26 和楽桜会
F	F4 おはなしの森、F5 おりづる、F8 コアサポーター会、F9 高齢者疑似体験ボランティアグループ、F12 小牧歴史ガイドボランティアたぶの木会、F18 誉高校インターアクトクラブ、F19 誉高校地域ボランティア部、F20 マーブルの会、F21 ママスタート・クラブ小牧支部、F22 もこもこ
G	G1 味噌地区シルバー奉仕団岩崎原友愛会、G2 一寸奉仕こまき、G5 小牧おもちゃ病院トイトイ、G7 小牧熟年ボランティアクラブ、G8 小牧西部地区婦人奉仕団、G9 米野さわやか会、G10 篠岡地区婦人奉仕団、G11 本庄台交通安全隊

(8)ボランティアルームの常時開設

【内 容】 部屋・備品の管理、棚の貸出、
ボランティア用パソコンの設置 利用件数 96 件 利用延べ時間 5,352 分

(9)婦人・ジュニア・シルバー奉仕団の活動推進

婦人奉仕団

- 【目 的】住みよい地域づくりを推進していくうえでその根底にあるべき「やさしさ」や思いやりの心」が大切です。
この実現のため、地域内の婦人が組織的、自主的且つ永続的にボランティア活動を展開していくことで「心豊かな住みよい地域社会」を創造することを目的とする。

①婦人奉仕団役員会

第1回

- 【日 時】4月7日（金）13時30分～
【場 所】ふれあいセンター 会議室4
【出席数】8名
【内 容】全体会（30年を祝うふれあい交流会に変更）について

第2回

- 【日 時】5月2日（金）13時30分～
【場 所】ふれあいセンター 視聴覚室
【出席数】8名
【内 容】30年を祝うふれあい交流会 最終確認

第3回

- 【日 時】平成30年2月9日（金）13時30分～
【場 所】ふれあいセンター 会議室2
【出席数】7名
【内 容】次年度の活動（内容・会議日程等）について、情報交換

②婦人奉仕団全体会（30年を祝うふれあい交流会）

- 【日 時】6月2日（金）13時30分～
【場 所】ふれあいセンター 大会議室
【参加者数】65名
【内 容】主催・連絡会長・来賓あいさつ
＜記念講演＞『笑顔で健康』
近藤洋二 氏（前豊橋市社協常務理事、日本笑い学会会員）
＜落語＞成田家 紫蝶 氏
＜交流会＞



③ふれあい会食会 ※2 地区（小牧西部・篠岡）実施

【目 的】地域の高齢者を対象として、アトラクション・食事などを楽しみながら参加者同士やボランティアとの交流を深める

【助 成 金】151,000 円（2 地区合計）

【対象者数】151 名（2 地区合計）

ジュニア奉仕団

【目 的】私たちは、市民憲章を生活信条として、社会の一員としての自覚をもち、明るい地域社会づくりをめざします。

①ジュニア奉仕団世話人会長会

第 1 回

【日 時】4 月 5 日（水）14 時～

【場 所】ふれあいセンター 会議室 4

【出 席 数】6 名

【内 容】総会について（講師の人選等）、新しい試みで 9 校の交流会について

第 2 回

【日 時】8 月 29 日（水）14 時～

【場 所】ふれあいセンター 会議室 2

【出 席 数】6 名

【内 容】市民まつり割振りについて、次年度の総会開催内容について

臨 時

【日 時】11 月 30 日（木）14 時～

【場 所】ふれあいセンター 会議室 3

【出 席 数】4 名

【内 容】次年度の総会開催内容（総会の流れ、講師、記念品）について

②世話人会・担当教諭合同会議

第 1 回

【日 時】4 月 21 日（金）15 時 30 分～

【場 所】ふれあいセンター 大会議室

【出 席 数】39 名

【内 容】総会の最終確認（講師、各役割など）

第 2 回

【日 時】平成 30 年 2 月 23 日（金）15 時 30 分～

【場 所】ふれあいセンター 大会議室

【出 席 数】39 名

【内 容】H29 活動のまとめ、次年度手続きの説明、H30 年（記念）総会について

③ジュニア奉仕団・世話人会合同役員会

【日 時】4 月 8 日（土）10 時～

【場 所】ふれあいセンター 大会議室

【出 席 数】83 名

【内 容】総会の役割分担決定、交流会実施について

④ジュニア奉仕団総会

【開催日時】 5月13日（土）10時～12時

【場 所】 小牧市市民会館 大ホール

【参加者数】 793名

【内 容】 H29 計画発表、講演（講師：小島裕治氏、演題：足でつかむ夢）

⑤ジュニア奉仕団勉強会(交流会)

【目 的】 団員がお互いに協力して人々の役に立つ奉仕活動を計画・実行し、明るい地域づくりをめざす。すでに行っている活動以外にも、様々なことを見聞できるよう勉強会を開催しこれからの活動に生かしていく。

【開催日時】 8月4日（金）10時～

【場 所】 味岡市民センター 講堂

【参加者数】 134名

【内 容】 他校の団員との交流（自己紹介、活動紹介、ゲーム等）

⑥ジュニア奉仕団活動

【内 容】 街頭募金活動、清掃活動、施設訪問、愛のレター書き、児童館活動
各種行事の手伝いなど

【件 数】 のべ287件（9校合計）

【人 数】 のべ8,636名（9校合計）



シルバー奉仕団

【目的】住みよい地域づくりを推進していくうえでその根底にあるべき「やさしさ」や思いやりの心」が大切です。

この実現のため、地域内の高年者が組織的、自主的且つ永続的にボランティア活動を展開していくことで「心豊かな住みよい地域社会」を創造することを目的とする。

○活動の継続を目指した支援

(10)ジュニア奉仕団卒団生の活動(ココボラ)

【目的】ボランティア活動に対して気持ちのある高校生・大学生が自発的に継続性をもってボランティア活動に参加できる土壌作り。

【人数】高校生 38名 大学生・一般 10名

【活動件数】196件、延べ474名

種類	分類	活動内容	延べ回数	延べ人数
1	A	役員会	5	23
2	A	総括班	1	5
3	C	ココボラ便り	7	12
4	A	春企画班	1	1
5	A	定例会	3	17
6	A	施設	32	35
7	B	ひとり親家庭学習補助	12	40
8	B	児童館	6	17
9	A	福祉展	39	149
10	B	寺子屋	5	12
11	C	駒来塾	13	16
12	A	ジュニア奉仕団	10	19
13	B	募金	1	2
14	C	避難者	3	11
15	A	歓迎会	3	19
16	B	スポレク	1	2
17	C	まちぶら	4	18
18	C	こども未来館	4	8
19	C	新図書館	2	8
20	A	ホームページ作成	31	34
21	D	その他依頼活動 単発の活動	13	26
		合計（重複含む）	196	474

①デイサービス、児童館、ひとり親家庭学習補助、ココボラだより、各イベント等メンバーの自主性を重視した活動の継続



(11)災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練

【目的】 災害時に、迅速かつ的確に災害ボランティア支援センターが開設・運営・閉鎖できる体制づくりを図るとともに、災害対応活動の情報交換及び災害ボランティア支援訓練を実施することにより、緊急時の対応に備える。

【開催日時】 平成 30 年 1 月 28 日(日)8 時 30 分から 12 時

【場 所】 ふれあいセンター 大会議室

【参加者数】 139 名

【内 容】 第 1 部 ボランティア支援センター立ち上げ訓練 伝達式

第 2 部 経験から学ぶ防災体制と対策

(1)小牧の防災体制 (2)小牧市社協の取組み

第 3 部 災害時ボランティア訓練

A 災害 V 支援センターの運営訓練、B 災害 V の活動訓練

①仮設テント・仮設トイレ設営 ②応急手当・AED

③炊き出し ④要援護者支援 ⑤資機材の確認・整備・管理

⑥デジタル防災無線

第 4 部 全体会 意見交流

(12)市総合防災訓練参加

市総合防災訓練において、災害ボランティア支援センターを設置・運営訓練を行う。

【開催日時】 8 月 20 日(日)

【場 所】 味岡中学校

【内 容】 災害ボランティア支援センターの啓発、支援物資の仕分け方法啓発

【対 象】 小牧市立味岡中学校区を中心とした地域



(13)東日本大震災県外避難者支援

ふれあいひろば小牧（避難者交流会）開催協力、避難世帯の戸別訪問、個別支援対応
愛知県被災者支援センター、市危機管理課、県外避難者、市民活動団体、ふれあいひろば小牧実行委員会等と協力し実施

①「ふれあいひろば小牧」の開催協力

【開催日時】 第14回：7月2日(日)10時～15時

第15回：11月5日(日)10時～15時

第16回：3月4日(日)10時～15時

【場 所】 ふれあいセンター 会議室3、視聴覚室、料理実習室、プレイルーム

【参加者数】 第14回：4世帯6名（大人4名、子ども2名）支援者18名 合計24名

第15回：7世帯15名（大人9名、子ども6名）支援者20名 合計35名

第16回：5世帯10名（大人5名、子ども10名）支援者21名 合計31名

【内 容】 避難の理由に関係なく誰でも、自由に立ち寄ることができ、お茶を飲んだり、お話をしたりしながらゆったりとした時間を過ごす。

参加者、協力者との交流を通して人と人とのつながりや信頼関係を築き、生活上の不安や気持ちをはき出せる場づくり。

【準備日程】 6月27日(火)、7月1日(土)、7月19日(水)、10月3日(火)、10月30日(月)、11月4日(土)、11月7日(火)、2月27日(火)、3月3日(土)、3月20日(火)

【主催協力】 ふれあいひろば小牧実行委員会（小牧市への避難者(岩手県、福島県)、西部地区婦人奉仕団、マーブルの会、ココボラ、コープあいち、小牧市社会福祉協議会)、愛知県被災者支援センター、傾聴ボランティア「こまき」、個人ボランティア

②県外避難者宅の個別訪問

○広域避難者個別支援のための事前打ち合わせ

【日 時】 9月4日(月)15時～16時

【場 所】 小牧市役所 302 会議室

【内 容】 1. 小牧市への避難世帯数と近況確認、2. 今後について

【出 席 者】 愛知県防災局、愛知県被災者支援センター、市危機管理課、社協

○個別訪問協力

【日 時】 10月13日(金)14時～、10月25日(水)14時～ 2件(2世帯)

【場 所】 小牧市役所

【内 容】 生活状況の聞き取り訪問(避難者、県被災者支援センター、県在宅保健師、市危機管理課、社協ほか)



(14)東尾張ブロック社会福祉協議会災害救援連絡会議

【目 的】 東尾張地域において局地災害が発生した場合に、東尾張ブロック内の市町社会福祉協議会が、被災地域の市町社協の救援活動を応援するために必要な事項について検討する。

①第1回災害救援連絡会議

【日 時】 平成29年8月29日（火）14時～15時30分

【場 所】 清須市清洲総合福祉センター

【内 容】 平成29年度市町村社協災害対応支援部会の報告について
平成29年度東尾張ブロック社協局地災害時救援活動訓練について

②第2回災害救援連絡会議

【日 時】 平成30年2月6日（火）14時～15時30分

【場 所】 清須市清洲総合福祉センター

【内 容】 平成29年度市町村社協災害対応支援部会の報告について
平成29年度東尾張ブロック社協局地災害時救援活動訓練の振り返りについて

○局地災害時救援活動訓練

【日 時】 平成29年12月23日（土・祝）12時～16時

【場 所】 清須市清洲総合福祉センター

【出席数】 「小牧災害ボランティアネットの会」から駆けつけボランティアとして
4名参加 小牧市社協からは職員3名参加

【内 容】 災害ボランティアセンター設置運営訓練 他

【備 考】 担当市町：清須市

(15)東尾張ブロックボランティア集会

【目 的】 近年、ボランティア活動は広く認知され、地域包括ケアシステムにおけるマンパワーとして注目されるなど、ボランティアへの期待はますます高まっています。

しかしながら、一方では、活動内容の多様化・複雑化により、ボランティア自体が正しく認識・理解をされていない現状もあります。

そこで、東尾張ブロック（瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、豊明市、東郷町、豊山町の9市2町）のボランティア関係者が一堂に会し、交流や親睦を通じて情報交換を行うことにより、各市町でのボランティア活動が地域住民に正しく周知されるとともに、活動がより発展することをめざして集会を開催します。

【開催日時】 9月16日（土） 午前10時～午後3時

【場 所】 尾張旭市文化会館（式典・講演）、尾張旭市中央公民館（交流会）

【内 容】 「楽しくやろう ボランティア！！」

【主 催】 東尾張ブロックボランティア集会連絡会、東尾張ブロック9市2町社会福祉協議会

時 間	内 容
10:00～10:20	オープニング 協 力 尾張旭児童合唱団
10:30～10:40	開会式 主催者あいさつ（東尾張ブロックボランティア集会連絡会会長） 幹事社協あいさつ（尾張旭市社会福祉協議会会長） 来賓祝辞（尾張旭市長、尾張旭市議会議長） 来賓紹介（愛知県社会福祉協議会 地域福祉部長）
10:40～10:55	移動
10:55～12:00	交流会 ①要約筆記ミニボードづくり～書いて伝えてみよう～ ②点字入り名刺を作ろう ③樹脂ネンドでつくるクリップ&マグネット ④筋肉量を保持して若々しい身体を保つ ～サルコペニアを予防しよう～ ⑤野菜DE おやつ ゴーヤ白玉を作ろう！ ⑥自由に話し合い～お隣さんはどんな人？～
12:00～12:45	昼食（各交流会会場）
12:45～13:00	移動・市町紹介コーナー見学（2階 展示ロビー）
13:00～14:20	講演会 テーマ「自分のからだで知る日本の文化」 講 師 西川流四世家元 西川 千雅 氏
14:20～14:30	休憩・市町紹介コーナー見学（2階 展示ロビー）
14:30～14:55	エンディングアトラクション NOSS 協 力 あさひ乃会
14:55～15:00	閉会式 次期開催地（日進市）あいさつ



(16)他市町村ボランティア連絡協議会との交流会

①名古屋市南区ボランティア連絡協議会との交流

【開催日時】 2月17日（土）10時～16時

【場 所】 東部市民センター、ふれあいセンター

【内 容】 篠岡地区ボランティアのつどいへ参加
交流会「ボランティアの魅力って何だろう～地域の一員として～」

【参加者数】 南区ボランティア連協 42名、小牧21名

2. ボランティアの心を育て実践を促す活動

(1) ボランティア養成講座の開催

① 手話ボランティア養成講座(昼の部)

- 【目的】 聴覚障がいによる日常生活の状況や障がい者としての気持ちを理解し、聴覚障がい者のコミュニケーションの手段である手話のボランティアを養成します。
- 【開催日時】 9月13日(水)～11月29日(水) 9時30分～11時30分(全12回)
- 【場所】 ふれあいセンター 視聴覚室他
- 【対象】 講座をきっかけに、ボランティア活動をはじめてみたい方
- 【参加者数】 9名
- 【講師】 講師：小牧市聴覚障害者福祉協会
協力ボランティア：手話サークル「おてだま」
- 【備考】 加入者数4名

② 手話ボランティア養成講座(夜の部)

- 【目的】 聴覚障がいによる日常生活の状況や障がい者としての気持ちを理解し、聴覚障がい者のコミュニケーションの手段である手話のボランティアを養成します。
- 【開催日時】 9月14日(木)～11月30日(木)18時30分～20時30分(全12回)
- 【場所】 ふれあいセンター 視聴覚室他
- 【対象】 講座をきっかけに、ボランティア活動をはじめてみたい方
- 【参加者数】 19名
- 【講師】 講師：小牧市聴覚障害者福祉協会
協力ボランティア：手話サークル「ふたば」
- 【備考】 加入者数4名

③ 音訳(朗読) ボランティア養成講座

- 【目的】 視覚障がいによる日常生活の状況や、障がい者としての気持ちを理解し、視覚障がい者に図書や広報を音訳(朗読)するボランティアを養成します。
- 【開催日時】 5月10日(水)～7月12日(水) 9時30分～11時30分(全10回)
- 【場所】 ふれあいセンター 会議室2
- 【対象】 講座をきっかけに、ボランティア活動をはじめてみたい方
- 【参加者数】 5名
- 【講師】 講師：芳川 正子氏
- 【備考】 加入者数3名

④ 点訳ボランティア養成講座

- 【目的】 視覚障がいによる日常生活の状況や、障がい者としての気持ちを理解し、視覚障がい者に図書や広報などを点字に訳する(点訳)ボランティアを養成します。
- 【開催日時】 5月12日(金)～7月14日(金) 9時30分～11時30分(全10回)
- 【場所】 ふれあいセンター 会議室2
- 【対象】 講座をきっかけに、ボランティア活動をはじめてみたい方
- 【参加者数】

※受講希望者が開講の規定人数(5名以上)に達していなかったため、開講中止。
⇒自主開講として開催 3名参加 3名加入

⑤要約筆記ボランティア養成講座

- 【目 的】聴覚障がいによる日常生活の状況や、障がい者としての気持ちを理解し、障がい者のコミュニケーション手段である要約筆記技術について学習します。
- 【開催日時】5月13日(土)～6月17日(土) 10時～12時(全6回)
- 【場 所】ふれあいセンター 視聴覚室他
- 【対 象】講座をきっかけに、ボランティア活動をはじめてみたい方
- 【参加者数】4名
- 【講 師】講師：要約筆記 O.H.P 小牧
- 【備 考】加入者数3名

⑥災害ボランティアコーディネーター養成講座

- 【目 的】災害時には、多くのボランティアによる協力と連携が必要です。被災した人たちの声を聴き、ボランティア活動とつなげて、調整・支援するコーディネーターの役割が大切になります。災害ボランティアコーディネーターについて学び、活躍してみませんか？
- 【開催日時】平成30年1月13日(土)・14日(日)・20日(土)・27日(土)
- 【参加者数】12名
- 【講 師】講師：小牧災害ボランティアネットの会、小牧市総務部危機管理課
- 【備 考】加入者数3名



(2)養成講座の開講支援

【目的】 ボランティアグループが、ボランティアの育成・ボランティア活動への参加のきっかけづくりを目的に、自主的に行う取り組みについて協力する。

広報や必要な経費の一部等を支援

【実施】 声のボランティア「かつこう」【体験】 4月19日 2名参加 1名加入

点訳グループ「たんぽぽ」【体験】 4月21日 3名参加 3名加入

あい心の窓

【傾聴講座】 4月26日 13名参加 6名加入

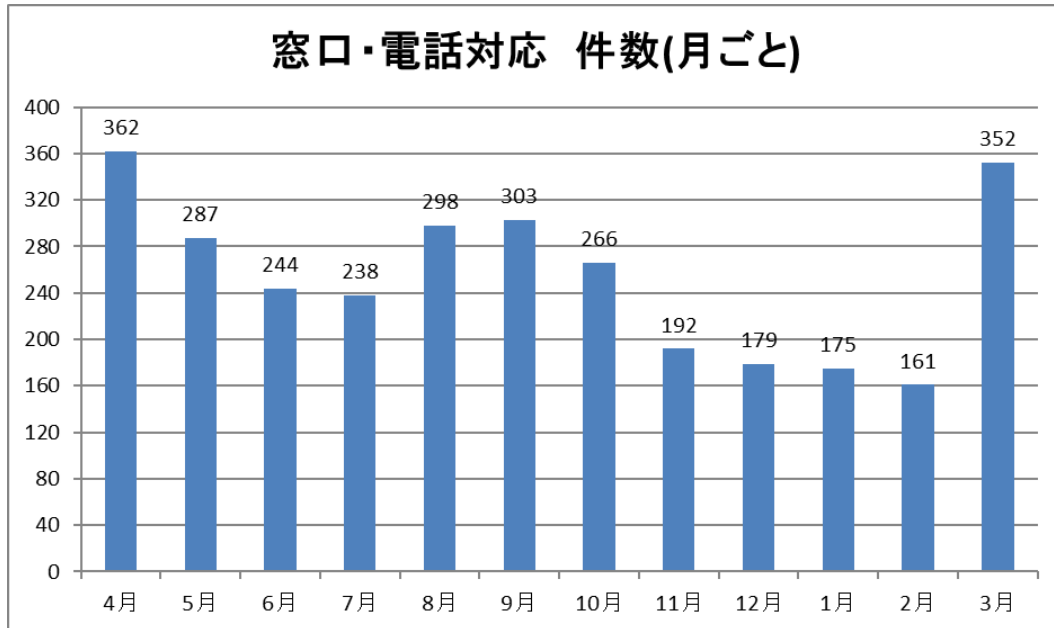


(3) ボランティア相談、情報提供、各種機材の貸し出し等

① ボランティア活動に関する相談（窓口、電話、メール、その他）

グループ運営に関する相談、新規立ち上げ相談、各活動に関する情報提供等

【対応件数】 3,513 件



② ボランティア情報提供

- 登録グループ情報、市民活動情報、活動メニュー、その他活動に関する情報等
- 助成金情報
- ボランティア活動についての現状の話、こころ構え等

③ 各種機材の貸し出し等

ボランティア活動に必要な各種資機材の貸出

④ ボランティア派遣依頼

【件数】 53 件

(4) ボランティア情報コーナー設置

【内容】 ボランティアに関する書籍や DVD、各種チラシ、ポスター、グループ情報ファイル、福島県の新聞 2 紙（週 2 回更新）、コルクボードでのボランティア情報の発信

(5) ボランティア登録

ボランティアグループ登録、個人ボランティア登録

分野	A	B	C	D	E	F	G	Jr 奉	個人 V	計
G 数	10	15	10	6	29	28	12	9		119
人数	270	320	212	225	441	782	794	992	102	4,138
男性	17	76	12	157	135	270	213			880
女性	253	244	200	68	306	512	581			2,164

3. 福祉教育活動の推進

(1)福祉実践教室の開催

【目的】 児童・生徒が障がい者や高齢者等との交流を通して、地域の福祉課題や生活課題に気づき日常的な実践活動へと広げ、「豊かな人間性」「共に生きる力」を育むことをねらいとする。

各小中学校へ出向き、ボランティアからの協力を得ながら開催。

【対象】 市内小中学校

【協力者】 高齢者疑似体験＝高齢者疑似体験ボランティアグループ

手話＝手話サークル「おてだま」

点訳＝点訳グループ「たんぽぽ」

要約筆記＝要約筆記要約筆記 O. H. P 小牧

車いす・アイマスク＝ガイドヘルプ友の会

認知症講座＝市内地域包括支援センター

【参加生徒】 小学校 13 校 高校 1 校 1,409 名

【ボランティア】 172 名

月	日	曜	学校	内容	児童数	児童数	ボラ数
6月	12日	月	光ヶ丘小学校 6年生	高齢者疑似体験	57名	28	6
				車いす体験		29	4
	23日	金	村中小学校 5年生	車イス	80名	25	3
				手話		30	3
			高齢者疑似体験		25	5	
7月	3日	月	篠岡小学校 5年生	高齢者疑似体験	63名	21	4
				手話		21	3
				点訳		21	3
9月	27日	水	大城小 5年生	点訳	53名	26	3
				手話		26	3
10月	11日	水	北里小 4年生	車いす体験	97名	20	3
				アイマスク体験		20	3
				手話		20	3
				要約筆記		20	3
				点訳		17	3
	18日	水	一色小 5年生	車いす体験	120名	30	3
				アイマスク体験		30	3
				手話		30	3
				高齢者疑似体験		30	6
	25日	水	小牧小 5年生	車いす体験	138名	23	3
				アイマスク体験		23	3
				手話		23	3
				要約筆記		23	3
				点訳		23	3
高齢者疑似体験				23		4	
27日	金	米野小 5年生	要約筆記	169名	30	3	
			点訳		30	3	
			手話		30	3	
			車いす体験		20	3	
			アイマスク体験		30	4	

				高齢者疑似体験		30	6
11月	8日	水	桃ヶ丘小 5年生	アイマスク体験	73名	24	3
				手話		25	3
				高齢者疑似体験		24	4
12月	1日	金	本庄小 5年生	車いす体験	141名	35	8
						35	8
				車いす体験		35	8
						36	8
	6日	水	小牧南小 4年生	車いす体験	128名	22	3
				アイマスク体験		22	3
				手話		21	3
				要約筆記		21	3
				点訳		21	3
	14日	木	三ツ渕小 5年生	高齢者疑似体験	41名	21	4
手話				20		3	
1月	17日	水	誉高等学校 1年生	アイマスク体験	56名	18	3
				手話		20	3
				高齢者疑似体験		20	3
	24日	水	誉高等学校 1年生	アイマスク体験	58名	18	3
				手話		20	3
				高齢者疑似体験		20	3
2月	3日	土	小牧原小 5年生	認知症サポーター 養成講座	133名	66	1
						67	1



(2)「総合的な学習の時間」への協力 (施設見学・調べ学習等)

- 【目的】 学校独自の福祉学習の取り組みに関する相談や講師となるボランティア派遣の調整をします。
- 【内容】 各小中学校で、各テーマに基づき開催。ふれあいセンターの施設紹介、見学
- 【開催日時】 4月27日 80人 ふれあいセンター施設見学

(3)中学生及び高校生福祉体験学習事業 (7月～8月)

- 【目的】 社会福祉に対する理解と参加を促進するため、社会福祉施設等でボランティア活動の体験学習を実施することにより、青少年の健全育成と活力ある福祉社会の醸成に寄与するものとする。
- 【開催時期】 7月～8月 (夏休み期間中)
- 【参加対象】 市内の中学生及び高校生 92名
- 【内容】 担当教員説明会 5月10日(水)15時30分～
事前説明会 6月24日(土)13時30分～
2日間のボランティア体験実習の実施
体験文集の発行 (市福祉大会での発表)
- 【協力者】 市内26施設・ボランティア 5団体
愛厚ホーム小牧苑、ゆうあい、岩崎あいの郷、オーネスト桃花林オーネスト小牧台、ふれあいデイサービスセンター、岩崎デイサービスセンター、豊寿苑、こまきの森、デイサービスひかり、ハートランド小牧の杜、すずかけ共同作業所、いわざき授産所、本庄授産所、サンフレンド、銀河、アザレア作業所、あさひ学園、竜陽園、結いの郷小牧、小牧白寿苑、花梨ふじしま、花梨まはら、気ごころの家、幸の郷、小牧ワイナリー、ボランティア「まどか」、ふれあいサロン華陽会、たまり場じいばあ、たまり場 城山、小牧原南サロン いこいの家



(4)市役所新任職員研修協力

- 【開催日時】 10月12日(木)、13日(金) 10時～17時
- 【内容】 市新任職員を対象に、ボランティアの協力のもと、高齢者疑似体験、認知症サポーター講座、障害者差別解消法、障がいのある方からの講話などを実施
- 【参加対象】 小牧市役所新任職員 39人

4. 「福祉の心」「ボランティアの心」の普及・啓発活動

(1)第 40 回福祉展の開催

【目的】小牧市における「福祉活動」「ボランティア活動」の実情を広く市民の皆様に紹介し、福祉についての関心と理解を深めていただくとともに、人と人のふれあいの輪を広げる機会とする。

【開催日時】10月21日(土)・22日(日)10時～16時

【場所】小牧市公民館

【内容】ボランティア・福祉団体による展示コーナー、ボランティアグループによる体験コーナー、福祉施設によるバザー、ふれあいひろばステージ、小中学生対象のLet's体験ほか

【協力者】<運営委員>いわざき授産所、本庄授産所、すずかけ共同作業所、ハートランド小牧の杜、サンフレンド/銀河、アザレア作業所/本庄プラザ、小牧熟年ボランティアクラブ、ママスタート・クラブ小牧支部、おりづる、点訳グループ「たんぼぼ」、ガイドヘルプ友の会、高齢者疑似体験ボランティアグループ、小牧市おもちゃ図書館 きらら、マーブルの会、声のボランティア「かっこう」、手話サークル「おてだま」、手話サークル「ふたば」、要約筆記OHP小牧、小牧防災リーダー会、パパママサポート あおぞら、ココボラ、小牧市手をつなぐ育成会、小牧市肢体不自由児者父母の会、篠岡地区婦人奉仕団、ボランティア「まどか」、ここばりこまき、こまき歯っ磨るテイスターズ

<ステージ協力>民踊 豊富会、誉高校地域ボランティア部&本庄小わくわく土曜クラブ、おじゃめの会こまき、おはなしの森、パパママサポート あおぞら、手話サークル「おてだま」、和太鼓 鼓珀、もこもこ、手話サークル「ふたば」、フォスター合唱団、和楽桜会

【準備日程】福祉展運営委員会 2回（運営委員 27名）

	日時	人数	内容
第1回	8月2日(水) 13時30分～ 15時		運営委員長・副委員長選出、第40回福祉展開催要項について、会場のレイアウトについて、部会構成について、開催内容について、福祉スタンプラリーについて、ふれあいひろばステージについて、今後の日程・準備について、部会別打ち合わせ
第2回	11月15日(水) 13時30分～ 15時	14名	協力者アンケート結果、Let's体験について

(2) ボランティア活動啓発用パネルを常時展示・貸出

【内 容】登録グループを紹介するため、活動紹介パネルを作成・貸出
持ち運び用縮小版を作成

【貸 出】2件 西部地区ボランティアのつどい、南部地区ボランティアのつどい

(3) ボランティアグループ一覧表の作成・配布

【内 容】概要版、詳細版の2種類を作成し配布

【件 数】配布枚数 1,200部

【配 布 先】市民、市役所本庁舎情報コーナー、小牧市市民活動センター、介護展、福祉展、民生委員、市内保健福祉施設団体連絡会、図書館、市生涯学習課窓口、こまなびサロン窓口、市主催ボランティア養成講座、地区ボランティアのつどい、ボランティア養成講座 ほか

(4) インターネットでのボランティア情報の提供

① ホームページ【<http://www.k-net.or.jp/~shakyo/>】

登録グループ一覧表、事業内容の紹介

② ブログ【<http://komakishishakyo.blog.fc2.com/>】

小牧市社協 ブログ 検索

○ボランティアセンター更新件数 8件

○グループからの掲載依頼

【件 数】4件 ココボラ、桃の木、ママスタート・クラブ小牧支部、点訳グループ「たんぼぼ」

(5) 啓発活動支援

① 社協だよりでのボランティアグループ紹介

「ココボラ便り」でのボランティアグループ紹介（ボランティア活動の取材）

- ・ボランティアグループからの掲載依頼に応じた情報発信の協力、グループ紹介。
- ・ココボラだよりの作成

読者にボランティア活動の楽しさを伝え、ボランティアへの関心を高めてもらう。

小牧市で「きらきら」輝いているボランティアグループを取材し、読者に親しみを持って読んでもらえる記事をつくる。

【件 数】4件 小牧災害時アマチュア無線連絡会、誉高校地域ボランティア部、ママスタート・クラブ小牧支部、点訳グループ「たんぼぼ」

② グループ情報ファイルの設置

【内 容】全グループ分の活動情報ファイルを作成、一般向けに設置

③ 掲載協力団体の把握

企業、マスコミ、新聞店、その他情報発信媒体を持つ団体などに対し、登録グループが自主的に情報発信できる様にするための協力体制の整備

5. 人にやさしいまちづくりの実現

障がい者(児)スポーツレクリエーションのつどい

【目的】市内に在住・在勤の障がい者(児)が一堂に会し、スポーツとレクリエーションを通じて相互の親睦を図るとともに、広く市民に対し障がい者福祉への理解と関心を深め、障がい者(児)の社会参加に寄与する機会とします。

【開催日時】11月12日(日)10時～14時40分

【場所】パークアリーナ小牧 メインアリーナ

【参加者数】602名(参加者259名、職員・保護者171名、ボランティア172名)

【内容】テーマ「手をつなごう こまきの仲間 未来をめざして」
参加者が楽しく参加できる競技・レクリエーション(大玉ころがし、たまいいれ、パン食い競争、カローリング、魚釣りゲーム、わなげ、アキュラシー、ボーリング、ラダーゲッター、みんなで踊ろう)

【参加対象】市内在住・在勤の障がい者(児)とその家族

【協力者】<運営委員・実行委員>

小牧市身体障害者福祉協会、小牧市肢体不自由児者父母の会、小牧市手をつなぐ育成会、いわざき授産所、すずかけ共同作業所アザレア作業所・本庄プラザ、小牧市ふれあいの家、本庄授産所ハートランド小牧の杜、サンフレンド・銀河・サンビレッジ、さんさん小牧、小牧市スポーツ推進委員連絡協議会、小牧市ボランティア連絡会

<当日協力(競技、参加者介助など)>21団体、個人ボランティア(3名)
サンデーボランティア、カトレヤグループ、小牧市おもちゃ図書館 きらら、篠岡リハビリ教室「ももの会」、味岡地域リハビリ たんぼぼの会、誉高等学校、小牧高校雑草友の会、ほがらかさん、三菱重工労組名誘支部 ボランティア委員会、ガイドヘルプ友の会、マーブルの会、岩崎中 Jr 奉仕団、手話サークルふたば、要約筆記 O. H. P 小牧、ここばりこまき、バリアフリー和太鼓サークル鼓っこ、晴留屋プロジェクト from ナナチャンホンポ、ココボラ、小牧南スポーツクラブ、小牧ディスククラブ、小牧市スポーツ推進委員連絡協議会、小牧原小学校ブラスバンド部、水仙会

【準備日程】運営委員会・実行委員会を開催し、実施内容の検討

①運営委員会 2回

	日時	人数	内容
第1回	6月22日(木) 13時30分～	12名	自己紹介、正・副委員長の選出、開催要項と日程について、運営と役割分担について、実施内容について、啓発方法について
第2回	11月1日(水) 13時30分～	13名	プログラム、参加者状況、実行委員の役割について、競技内容等について、注意事項について、今後の準備日程について、次年度の開催日について

②実行委員会 7回

	日時	人数	内容
第1回	7月11日(火) 18時～	19名	運営委員長あいさつ、自己紹介、正・副委員長の選出、第41回開催と日程および運営について、事前アンケート結果について、プログラムと競技内容について、前年度の内容確認、今年度の内容について
第2回	8月1日(火) 18時～	14名	前回の振り返り、開会式～午前競技について、午後レク～閉会式について、実行委員の役割分担(係)について
第3回	8月22日(火) 18時～	12名	会場見学、前回の振り返り、午前競技について、午後レクについて、待機場所、控え室決め、ゼッケンの枚数確認、PR写真、記録について
第4回	9月12日(火) 18時～	14名	午前競技、午後レクについて、開閉会式について、放送原稿の確認、参加者の募集について
第5回	10月3日(火) 18時～	14名	ボランティア参加状況について、競技内容について、市広報への掲載について
第6回	10月24日(火) 18時～	13名	参加状況について、ボランティアの参加状況について、実行委員の参加状況確認、各競技、午後レクについて、撮影について、パークアリーナとの打ち合わせ内容の確認
第7回	11月7日(火) 18時～	14名	報告事項、確認事項、検討事項、各競技、係からの最終チェック

③リハーサル・反省会

会議名	日時	内容
会場準備・リハーサル	11月11日(土) 13時30分～	会場準備、リハーサル
運営委員・実行委員合同反省会	12月5日(火) 18時～	スポレクのまとめ、アンケート結果報告、次年度開催に向けて

④事業所 新規参加説明会

参加希望施設なし



6. その他登録ボランティアに関する事業

(1)社会福祉協議会事業

- ① 社会福祉協議会協力会費への協力
- ② 小牧市地域福祉計画・地域福祉活動計画に関する事業（ふくし座談会など）
- ③ 福祉映画を鑑賞する会 毎月第2日曜日
- ④ ふれあいいきいきサロン（高齢者、障がい者、子育て）
- ⑤ 小牧市社会福祉大会
- ⑥ ひとり暮らし高齢者交流会（11月）
- ⑦ 地域包括支援センター（認知症サポーター講座、徘徊模擬搜索訓練、地域支えあい会議 他）
- ⑧ 希望を叶え隊
- ⑨ ふれあいデイサービス、岩崎デイサービス、 外出企画等
- ⑩ デイサービスひかり ふれあいまつり
- ⑪ 市長を囲む福祉関係者懇談会

(2)共同募金事業

- ① 募金活動（赤い羽根共同募金、歳末助け合い運動） 他

(3)善意銀行事業

- ① 愛善連ボランティア交流会のつどい（蒲郡市）
篠岡リハビリ教室「ももの会」



- ② 善意のつどい（3月23日）
- ③ 特別支援学級生合同クリスマス会（12月7日） 他

(4)各種表彰

①厚生労働大臣表彰

声のボランティア「かっこう」



②ボランティア活動功労者表彰(県知事表彰) 団体表彰

篠岡地区婦人奉仕団



③愛知県社会福祉協議会会長表彰、感謝状

	ボランティア団体	顕彰
1	小牧熟年ボランティアクラブ	会長表彰
2	小牧ギター合奏団	会長表彰
3	傾聴ボランティア「こまき」	感謝状

④小牧市社会福祉大会

社会福祉協議会会長表彰、感謝状

	氏名	ボランティア団体	活動年数	顕彰
1	福本美紀枝	カトレアグループ	32年間	会長賞
2	渡辺 敏子	小牧市食生活改善協議会	30年以上	会長賞
3	舟橋 幸子	味岡地域リハビリたんぽぽの会	23年間	会長賞
4	梅村 厚子	声のボランティア「かっこう」	22年間	会長賞
5	升谷 良一	ボランティア「まどか」	20年間	会長賞
6	浜口 明雄	小牧マジッククラブ	19年間	会長賞

7	長田 勇	芸能 友輪会	18 年間	会長賞
8	山田三恵子	小牧市更生保護女性会	17 年間	会長賞
9	久保田孝夫	アラッ！ク (アマチュア無線災害ボランティア小牧)	17 年間	会長賞
10	伊藤よし子	野口さわやか会	16 年間	会長賞
11	加藤 昌範	北里ハーモニカクラブ	15 年間	会長賞
12	坂田 啓子	小牧市女性の会 野ぎくの会	15 年間	会長賞
13	平野恵美子	ボランティア柿の木	15 年間	会長賞
14	井坪 雅子	ガイドヘルプ友の会	15 年間	会長賞
1	木全 健治	多気交友会	代表 13 年	会長賞
2	本間 昌輔	久保山団地お助けマン	代表 12 年	会長賞
1	秋山由美子	東雲吟詠会	代表 7 年	感謝状
2	増田 千文	ジュニア奉仕団世話人会	代表 6 年	感謝状
3	吉村 潤子	高齢者疑似体験ボランティアグループ	代表 5 年	感謝状

(5)研修会・講師派遣・参加協力依頼関連

①デジタル防災無線訓練

【目 的】非常時における災害ボランティア支援センターの設置及び運営に際して、各避難所等からのニーズ収集及び必要な連絡を円滑に行うための訓練として実施する。

【開催日時】6月17日(土)10時～12時

【場 所】ふれあいセンター 会議室4、屋上

【内 容】ふれあいセンター既設のデジタル移動系防災無線の使用確認及び統制台との通信訓練

【参 加 者】小牧市危機管理課職員、アマチュア無線災害ボランティア小牧、小牧市社会福祉協議会職員



②東海地域における当事者団体及び避難者支援団体のネットワーク化推進事業

311・県外避難者について考えよう 東海地域避難者支援連絡会

【開催日時】7月30日(日)16時15分～18時45分

【場 所】TKP ガーデンシティ名古屋新幹線口

【依頼者】認定NPO法人レスキューストックヤード

【内 容】参加者自己紹介、甲状腺エコー検査の検査実施状況について、三重県の避難者支援状況、岐阜県の避難者支援状況、静岡県での避難者支援状況、愛知県の避難者支援状況

③愛知県・岐阜県・三重県避難者支援に関する意見交換会

【目 的】復興大臣との懇談会

【開催日時】9月22日(金)18時30分～

【場 所】愛知県庁東大手庁舎



④精神保健福祉ボランティア養成講座

【開催日時】10月10日(火)、10月25日(水)、11月4日(土)、11月24日(金) 全4回

【場 所】ふれあいセンター 会議室3ほか

【依頼者】春日井保健所

【内 容】精神障害者の地域支援を知る

小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター 武内敬之

⑤東日本大震災受け入れ被災者の「個別支援のための研修会」

【日 時】11月30日(木)11時から16時30分

【場 所】愛知県社会福祉会館

【内 容】実践報告

「岩手県における災害避難者の生活課題と個別支援－被災者を地域につなぐ実践事例－」 NPO法人インクル岩手

「愛知県における個別支援事例」

事例1 小牧市社会福祉協議会 高齢夫婦世帯への支援事例

事例2 多文化ソーシャルワーカー 外国人避難者への個別支援事例

事例3 在宅保健師会「あいち」 独居高齢者の日常生活の見守り事例

グループワーク

⑥東日本大震災受け入れ被災者の「個別支援のための研修会」

【開催日時】 12月13日(木)10時～19時45分

【場 所】 ウィンク愛知

【依頼者】 認定NPO法人レスキューストックヤード

【内 容】 「県外避難者の現状と愛知県被災者支援センターについて」、ミニシンポジウム、「愛知県被災者支援センターが抱える課題から、避難者を地域で支える支援体制について考える」

⑦男性のための地域デビュー講座

【目 的】 「地域で活動したいがきっかけがない」「具体的にどんな地域活動が必要とされているのか知りたい」などの意向を持っている男性シニアを対象とした地域デビューのきっかけづくりに資する講座を開催する。参加者自身が住む各地区で必要とされる地域福祉活動を立ち上げることを意識していただく。

【開催日時】 2月22日(木) 13時30分～15時30分

【場 所】 ふれあいセンター

【内 容】 小牧市地域包括ケア推進課

講義 ～今だから必要な男性の地域貢献～

小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター 武内敬之

事例報告、意見交換

平成 30 年 2 月 28 日 作成
平成 30 年 3 月 30 日 作成